

「ナラ枯れ」防除対策

【予防対策】 ナラが枯れないように、被害に備えるものです。

■ 樹幹注入: 殺菌剤を幹に注入して、ナラ菌を防除する

幹の地際から高さ20cm程度の位置にドリルで深さ4cm程度の穴を開ける。

↓
注入孔に薬剤ノズルを差し込む。

↓
薬剤注入完了後、注入孔をふさぐ。

↓
ナラ菌の繁殖を抑制する。



(新潟県より提供)

■ 樹幹被覆: 合成樹脂製のシートやフィルムで幹を覆い、虫の穿孔を防ぐ

幹をシート等で覆う。

↓
幹から剥がれないようにシート等を固定する。

↓
カシノナガキクイムシの侵入を防ぐ。



(新潟県より提供)

■ 樹幹塗布剤: 粘着剤、殺虫剤等を幹にコーティングし、虫の穿孔を防ぐ

幹に粘着剤、殺虫剤を噴霧。

↓
カシノナガキクイムシの侵入を防ぐ。



(新潟県より提供)

■ 被害にあう前に伐採・利用する予防法

被害地から数十キロ離れている地域で、ナラ類が豊富にある林分では、被害にあう前に伐採して利用し若齢林にすることで、カシナガの繁殖に不適となるため、予防できます。

【駆除対策】 枯損木内に潜伏しているカシナガキクイムシを殺虫して、他へ飛び移らないようにするものです。

■伐倒くん蒸: 枯損木を伐倒集積し、くん蒸薬剤を集積した材に散布してビニール被覆を行う



枯損木の伐倒



伐倒木に切れ目を入れる



くん蒸剤を散布してシートで被覆
2週間以上くん蒸

■立木くん蒸: 枯損木を伐倒せず、そのままの状態ですべてに穴を開け薬剤を入れて虫を殺虫する

枯損木にドリルで薬剤注入孔を穿孔(10.5mm、深さ25mm)を開ける

地上高50cmまでは10cm間隔の千鳥状、地上高50cm以上は20cm間隔の千鳥状に穴を開けます。

↓
くん蒸剤2mlを注入

■焼却・チップ: 焼却又は枯損木を10mm程度の厚さに粉碎する

地際から伐採して、伐採木を破碎する。(破碎は10mm以下)

※ 伐倒した場合は、伐根に対してもくん蒸処理を行う。
ドリルで穴を開けてくん蒸剤を入れ、シートで覆う。

■フェロモン剤使用のおとり丸太トラップ

おとり丸太にフェロモン剤でカシナガを誘引し、カシナガが穿入した丸太を焼却処理する。